

シグマ委員会, 昭和58年度第5回運営委員会議事録

日 時 昭和58年10月21日(金) 13:30~17:30
場 所 原研本部第7会議室
出席者 原田(委員長, 原研), 村田(NAIG), 中沢(東大炉), 梶山(東北大), 中嶋(法大), 五十嵐, 田中, 松浦, 菊池(原研)
オブザーバー: 川合(NAIG), 西村, 鹿園, 浅見, 松本(原研)

配布資料

1. 前回(58.9.2)議事録(案)
2. シグマ委, 会合開催数と旅費使用実績(58年度)
3. Pearlstein氏(BNL)からENDF/B-V受領者へのNotice(写)
4. IAEA handbook on nuclear data for safeguards に関する質問状への回答
5. The 3rd IAEA Advisory Group Meeting on Transactinium Isotope Nuclear Data (in Uppsala) のアナウンス
6. The 6th Meeting of the International Nuclear Structure and Decay Data (in Karlsruhe) のアナウンス
7. 1983年核データ研究会の案内状
8. FP核データ・ワーキング・グループ打合せ議事録, 進捗状況と作業予定の表
9. 特殊目的核データの表
10. JENDL-3作成関係メモ

議 事

1. 前回議事録確認
資料1により確認を行った。
2. 事務局報告
(1) シグマ委の58年度の会合開催数と旅費の使用状況の推移について, 浅見氏から資料2による報告があった。10月に入って旅費の使用額が急激に増加し始め

たので、今後の会合開催については、事務局と良く相談の上、進めることになった。

(2) 原子力総合シンポジウムについて、今回は核データ関係は出さないことになった。その間の事情について楢山氏より説明があった。

(3) ENDF/B-Vの ^{232}Th データの入手についてBNLに問合せをしていたが、Pearlstein氏からB-Vデータ受領者へのNotice(資料3)と共に、データが送られて来たので、使用希望者は核データセンターに問い合わせられたい旨、五十嵐氏から報告があった。

(4) 前回の議事録にあった専門委員の発令に関して、事務の方から発令には少なくとも2ヶ月を要するので来年度廻しにして欲しいとの要望があり、中川氏の発令を除いては事務側の要望に従うことにしたと浅見氏から報告があった。

3. IAEA Handbook on Nuclear Data for Safeguardsの質問状への回答: 松浦氏より資料4の回答を作成し、IAEAへ送ったことが報告された。

4. 国際会議関係

(1) Specialists' Meeting on Yields and Decay Data of Fission Product Nuclides: 松本氏より、上記会合が10月24日-27日にBNLで開催され、NAIG吉田氏が出席すること、日本からは、'Decay Heat Data Needs'と云う題目で吉田氏が崩壊熱実験データと評価データの現状と問題点を口答発表し、またPoster discussionとして秋山氏、安氏(東大炉)の'Gamma Decay Heat for 14MeV Neutron Fission of ^{235}U , ^{238}U and ^{232}Th 'を発表する予定であると報告があった。

(2) Consultants' Meeting on Nuclear Data for Structural Materials: 浅見氏から、上記会合が11月2日-4日にIAEA本部で開催され、浅見氏が出席すること、'Status of JENDL-2 Evaluated Data for Structural Materials'と云う題目で、JENDL-2による構造材評価の現状について報告を予定しているとの説明があった。

(3) The 3rd IAEA Advisory Group Meeting on Transactinoid Isotope Nuclear Data: 原田委員長から、資料5により、上記会合が1984年5月21日-24日にUppsala(Sweden)で開催される予定であると紹介された。

(4) The 6th Meeting of the International Nuclear Structure and Decay Data Network: 松本氏から資料6により, 上記会合が1984年4月3日-6日にKarlsruheで開催される予定であると紹介された。

5. 核データ研究会の準備状況

中沢氏から資料7により, 研究会の準備状況について説明があった。既に案内状を配布し, 10月29日(土)締め切りということで出欠の返事を集めること, ポスター・セッションは現時点で18件あり, 開催を予定して実施要領を作ったこと, 及びその内容についての説明があった。

講演にさいして, 前回はアブストラクトを作ったが, 事務局の忙しさを考えて実行委としては今回は止めたいということで議論が行われた。結局必要であると思う講演者が, 3枚, 80部程度の資料を用意してくれるよう2nd circularに入れるということになった。

6. NEANDC第24回会合の準備状況

五十嵐から, Topical Conferenceのテーマについては, こちらで提案した'FPの中性子断面積と崩壊熱'というテーマで良いとの返事がMichaudon氏からあったこと, オブザーバーについては, 日本側としてはセッション毎に関連のある人, 2~3人に出て貰う形にしようかと考えていること, また外国からのオブザーバーとしては, 旧メンバーのChrien氏が来る予定であるとの報告があった。

松本氏から, Topical Conferenceの準備委員による会合を9月26日(月)に開き, テーマなどの相談をしたこと, 過去の例から30分づつの講演で国内3件, 国外3件という割り振りを考えており, 国内の候補テーマをいくつか検討しているとの報告があった。11月16日(水)に次回会合を開き, テーマの選定, 外国出席者への打診の手紙を相談する予定である。

7. 原子力学会の特別会合の感想と反省ということで議論が行なわれた。次回に春の年会におけるテーマを検討することになった。

8. FP核データ評価WGの活動

川合氏から資料8により, FP核データ評価の現状と作業予定について説明があった。99FP核種と7天然元素からなる基本ファイルを12月末までに完成する予定であるということに対していろいろ質疑が行われた。計算機の空き具合, その他の条件にも左右されるが, 必要なマンパワーが定常的に作業に集中できれば目標

達成は可能であろうということ、また積残しがあったとしても数核種程度にとどめて、残りは核データセンター側で処理できるところまで持って行きたいとの回答があった。

9. 特殊目的核データの報告書

西村氏から資料9により、特殊目的核データの最終的な表を、I.核反応データ、II.壊変データ、III.FP収率の3種類に分けてまとめたこと、またこの最終的な報告書をまずJAERI-memoで出し、各専門分野のコメントを貰った上で改めてJAERI-Mとして公表することを考えているという報告があった。表の内容についての議論が行われた。

10. JENDL-3の作成状況

浅見氏から資料10により、JENDL-3作成状況の報告及び今後の作成作業のための提案についての説明があった。作成状況については、ファイル作成WGでは核種毎の評価分担表を作成し各評価者に通知すること、また評価に役立てるために、JENDL-2データと実験値のプロット図を作成する予定である。

また、JENDL-3ファイル作成作業のために以下の3提案がなされた。

(1) JENDL-3計画全般をWatchし、計画を随時総合するようなAdvisory Groupを作りたい、(2) JENDL-3収納核種、covarianceデータ、特殊目的ファイル、ベンチマーク・テストなど、ファイル作成WGでは処理できない問題の検討をしたい、(3) ファイル作成WGは現在核データ専門部会内にあるが、これを核データセンター直属の常置グループとしたい。これは他の専門部会、たとえば核構造崩壊データなどのグループと共同で処理しなければならない問題もあることを考慮してのことである。

これに関して活発な議論があったが、(1)に関しては、Projectにはtime scheduleがつきものであり、全体のcoordinationをするグループが必要であろう、(2)は委員会内で全部を処理することはできないであろうし、委託とか予算がからんで来るであろう。また、(3)に対しては賛成意見が多かった。これらに関しては事務局で提案をさらに具体化して、できれば次回に出して欲しいということになった。

11. その他

(1) FNS実験のための核データ評価は12月中に終える予定で、順調に進んでい

る。(菊池氏)

- (2) 14 MeV 中性子の核データに関する会合が11月21-25日に Gaussig (東独) で開催され、高橋氏(阪大)が出席の予定である。阪大の DDX と東北大の Pb のデータを提出する。(梶山氏)
- (3) JENDL-2 のコメント (File 1) は10月1杯ということで原稿を集めているが、年内に完成の予定である。(菊池氏)

次回は11月18(金)午後に原研東海で行う予定。